

バランス考え除染作業を

IAEAの除染に関する 訪日調査団 適切な基準の検討促す

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

一行は、七日に来日、福島県も訪れ、除染技術の実証現場の視察、関連機関との意見交換などを行った。今回報告書は、来日中に取りまとめた予備的なものだが、確認事項の冒頭、「良好」と述べ、国際的な経験共有と教訓

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

廃棄物減容化など課題

除染国際シンポジウム 海外事例も紹介

原子力被災者生活支援チームと環境省は十六日、「環境の再生に向けた除染に関する国際シンポジウム」を福島市のパルセイヤで開催した。

細野豪志・環境相は、「除染は最も大きな困難を伴う課題であり、福島を再生の鍵を握る」と挨拶した。続いて、佐藤雄平・福島県知事、エチャバリーOEC/D/NEA事務局長、天野之弥IAEA事務局長(ビデオメッセージ)が挨拶した。

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除



IAEAの訪日ミッションメンバーと関係者ら。左から、IAEA放射線防護部長のレンティッホ氏、IAEAの専門家ら、細野豪志環境相ら。

溶融燃料の挙動分析

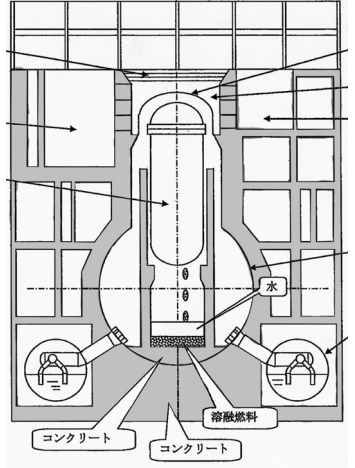
JNES コンクリート浸食せず

原子力安全に異変部分がある。最初の解析は「金属キャスクの臨界安全性解析」から始まり、最後のものは「福島第一原子力発電所3号機の原子炉建屋の現状の耐震安全性評価に係る検討」まで。

「現在継続中の1F1、2、3号機への注水が停止した状況(2)なるか(三)月十六日作成、「炉心損傷割合からのINES評価レベルについて(三)月十七日作成」、「炉心コアコンクリート反応(MCC)の発生可能性とその

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除



溶融燃料の挙動分析のシミュレーション結果を示す図。コンクリートに浸食しないことが確認された。

半減期の差など解説

文科省 放射線副読本を各校へ

文科省は十四日、放射線等に関する副読本を各小・中・高学校へ配布することを発表した。副読本は、放射線や放射性物質、放射能に対する関心を高めることを目的として、放射線や放射性物質の基礎知識、放射線の利用、放射線の測定、放射線の防護などについて解説しており、食品照射や工業製品への利用、放射性物質との半減期の違いなど、写真や

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

注水設備の復旧訓練実施

福島第一 東京電力・福島第一原子力発電所

東京電力・福島第一原子力発電所では十二日、原子炉注水設備の復旧訓練を実施した。

訓練の内容は、福島県沖マグニチュード8の余震により、原子炉注水設備が損傷したことを想定し、二台の消防車連携により、三百mのホースを敷設、海水を汲み上げ、軽トラックに搭載した模擬配管に注水した後、海水を戻すという段階取りだ。高い放射線レベル、散乱するがれきにも留意して行われなければならない。

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

復旧・復興に三千七百六十五億

概算要求 科技関連

文科省が十三日に取りまとめたところによると、一・二年度概算要求における政府全体の科技関係経費は総額三兆七千三百五十八億円(対前年度比二・五%増)となった。うち、日本再生重点化措置要額は四千二百二十八億円。東日本大震災からの復旧・復興対策経費三千七百六十五億円が計上されている。

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

他発電の二酸化炭素経費審議

「コスト等検証委員会」

政府の「エネルギー・環境会議(議長・古川元久・国家戦略担当相)」の「コスト等検証委員会」(石田勝之・内閣府副大臣・国家戦略担当)の第

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

除染モデル実証 事業案募集

JAEA

日本原子力研究開発機構(JAEA)福島支援本部では、原子力事故からの環境回復のため、除染モデル実証事業の提案を公募している。警戒区域、計画避難区域等に指定されている十二市町村での年間線量率低減化を図る技術知見を求め、より効率的な除染活動につなげるというもの。

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

汚染状況をリアルタイムで把握

放医研

放射線医学総合研究所は十八日、革新的放射線モニタリングシステム「ラジプロ」を開発したと発表した。同システムは、市販の放射線検出器、GPSユニット、通信機器と独自開発のソフトウェアを組み合わせて開発したもので、既に特許を出願している。

IAEAの除染に関する訪日ミッション(団長J・C・レンティッホ・スペイン原子力安全委員会放射線防護部長)が十四日、全日程を終え、福島原子力災害に伴う日本の除染プログラムについて、九の確認事項と十二の助言からなる予備調査報告を細野豪志環境相に手渡した。

今回調査に訪れたのは、除染活動に伴う廃棄物処理、放射線防護、計測技術、情報発信など計十二名の専門家からなるチームで、チェルノブイリ事故処理の経験者もいる。日本滞在中に、一行は福島第一原子力発電所を訪れたほか、伊達市内小学校の除染モデル実証、飯館村の農地土壌除

炭素経費審議

「コスト等検証委員会」

政府の「エネルギー・環境会議(議長・古川元久・国家戦略担当相)」の「コスト等検証委員会」(石田勝之・内閣府副大臣・国家戦略担当)の第